

令和7年度				業務委託設計書			
担当名		建設課 土木担当					
河川路線名		市道21117号線					
委託業務場所		山梨市 牧丘町窪平 地内					
事業名		道路メンテナンス事業					
委託業務名		市道21117号線 琴川橋補修設計業務委託					
業務概要		橋梁補修設計業務 N=1橋					
業務価格				業務委託価格			
		円				円	
消費税相当額				消費税額			
		円				円	
業務費				業務委託料			
		円				円	

# 業務費内訳書

市道21117号線 琴川橋補修設計業務委託

名 称・規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量業務	式	1			
直接測量費(旅費(率分)・日当宿泊料(率分))	式	1			
4級基準点測量	点	3			
作業計画	業務	1			
現地踏査	km	0.2			
中心線測量	km	0.2			
縦断測量	km	0.2			
横断測量	km	0.2			
現地測量	式	1			
河川占用申請書等作成	箇所	1			
直接経費	式	1			
旅費交通費(率分)	式	1			
安全費	式	1			
電子成果品作成費	式	1			
直接測量費	式	1			
間接測量費	式	1			
諸経費	式	1			
測量業務価格	式	1			
設計業務	式	1			
直接原価(旅費(率分)・日当宿泊料(率分)・賃借料(率分))	式	1			
既存資料の収集・整理	式	1			
躯体測量・調査	支間	3			
現地調査	橋	1			

# 業務費内訳書

市道21117号線 琴川橋補修設計業務委託

名 称・規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上部工補修設計	支間	3			
橋面防水工設計	橋	1			
伸縮装置取替設計	式	1			
防護柵取付設計	橋	1			
河川協議資料等作成	業務	1			
照査	式	1			
報告書の作成	式	1			
打合せ協議	業務	1			
安全費	式	1			種別行
橋梁点検車(BT-200相当)	式	1			
安全費	式	1			
直接経費	式	1			
旅費交通費(率分)	式	1			
電子成果品作成費	式	1			
直接原価(その他原価除く)	式	1			
その他原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格	式	1			
業務価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
業務委託料	式	1			

# 特 記 仕 様 書

事業名 : 道路メンテナンス事業

委託業務名 : 市道21117号線 琴川橋補修設計業務委託

山梨市役所 建設課

(適用範囲)

第1条 この仕様書は「測量業務共通仕様書」(令和6年10月山梨県県土整備部版と同じ)102条「設計業務等共通仕様書」(令和6年10月山梨県県土整備部版と同じ)1102条に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は前記共通仕様書による。

(疑義等)

第2条 この特記仕様書に記載のない事項及び、本業務履行にあたり疑義が生じた場合には、受注者は、監督員と協議しその指示に従わなければならない。ただし、設計図書及び本仕様書に明記されていない事項でも当然必要と思われる事項については、受注者の責任において調査・測量・設計を行い、その成果を添付するものとする。

(業務場所)

第3条 本業務の場所は、別途位置図に示す場所とする。

(業務の目的)

第4条 本業務は、この仕様書に基づき、市道21117号線 琴川橋補修設計業務委託を行うことを目的とする。

(業務内容)

第5条 本業務の業務内容は次の通りとする。

【測量業務】

①4級基準点測量	3点
②作業計画	1式
③現地踏査	0.2km
④中心線測量	0.2km
⑤縦断測量	0.2km
⑥横断測量	0.2km
⑦現地測量	1式
⑧河川占用申請書等作成	1式

【設計業務】

①既存資料の収集整理	1式
②躯体測量・調査	3支間
③現地調査	1橋

④上部工補修設計	3 支間
⑤橋面防水工設計	1 橋
⑥伸縮装置の取替え設計	1 橋
⑦防護柵取付け設計	1 橋
⑧河川協議等資料作成	1 業務
⑨照査	1 式
⑩報告書の作成	1 式
⑪打合せ協議	1 業務

【直接経費等】

①橋梁点検車	1 式
②安全費	1 式

形状寸法調査など現地調査の際の橋梁点検車の使用、交通規制対応として 3 日を想定する。なお、交通誘導員は 1 箇所あたり 3 名の配置を想定する。

(法令等の遵守)

第 6 条 受注者は、業務を実施するに当たり、関連する各種法令、法規、技術指針等を遵守しなければならない。

(中立性の保持)

第 7 条 受注者は、コンサルタントとしての中立性を保持しなければならない。

(秘密の保持)

第 8 条 受注者は、業務上知り得た秘密事項を外部に漏洩させてはならない。

(業務の遂行)

第 9 条 この業務委託に従事するものは、業務の遂行を成し得る知識と経験を有するものでなければならない。

(費用の負担)

第 10 条 本仕様書に明記されていないものであっても、業務上当然必要な費用は、受注者の負担とする。

(渉外事務)

第11条 受注者は、本業務の遂行に伴って関係機関との各種渉外事務を行わなければならない。ただし、受注者単独での折衝に不都合のある場合は、監督員と協議し同席して折衝にあたるものとする。なお、渉外事務の記録は詳細に明記して業務打合せ簿にて随時報告しなければならない。

(成果品に対する責任の範囲)

第12条 受注者は、業務完了後といえども受注者の責に帰する不都合が発見・指摘されたときは、速やかに成果品の訂正を行わなければならない。これに要する経費は全て受注者の負担とする。

(履行期間)

第13条 履行期間は、契約日の翌日から令和7年9月30日までとする。

(打ち合せ協議)

第14条 主要な協議は、管理技術者が出席するものとする。また、協議については、全て議事録をとり、協議の経過を明確にしておくものとする。

(照査)

第15条 受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、照査を実施し、誤りがないように努めなければならない。

2 受注者は遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

(成果品)

第16条 本業務の成果品は以下のとおりとする。

- 1) 報告書 (CD-R) 2 枚
- 2) 報告書 (紙出力) 2 部
- 3) その他監督員の指示するもの。

(成果品の帰属)

第17条 本委託契約に基づき得られた成果物 (中間成果も含む) の著作権はすべて発注者に帰属するものとする。

2 受注者は、本委託契約に基づき得られた成果物 (中間成果も含む) に対して著作権者人格権を行使しないものとする。

(その他)

第 18 条

その他、本業務内容に疑義が生じた場合は監督員と協議する。